ラビット消防ポンプ（Ｐ３８２Ｓ）取扱説明書

◎ 運転準備

１．　ガバナオイルの点検

① 使用オイルは通常のモービルオイル

② 規定量　７０ｍｌ指示線まで

③ 交換目安　１回／年

２．　燃料の注入

① 普通ガソリン

② タンク容量　４Ｌ　　側面ゲージで確認

③ 運転時間は４Ｌで５０分程度の稼動

３．　２サイクル用専用オイル

① タンク容量　０．６Ｌ　　側面ゲージで確認

② 補充目安　ガソリン４回注入で１回程度

４．　ポンプの設置

① 平らな場所に設置

② 水源の給水面に近いポジション位置に設置

５．　ポンプへのホースの取り付け

① 操作面の左下の吸水口に吸水管を接続

② 吸水管の先端篭は空気を吸い込まないように考慮した、水深に投入

③ 放水ホースは、放水口に接続

６．　放水ホースの接続

① 放水ホースの連結は折れのないように延長接続する

② 放水地点までは最短ルートでホースを接続

③ 放水地点でのホースの長さは調整出来ないので、最後の
ホース接続はホースの曲がりを想定して接続する

④ 放水先端の噴霧ノズル付管鎗は最後に接続

ポンプの運転

＊設置位置が確定したならば、まずエンジンをかけておく

１．　始　　動

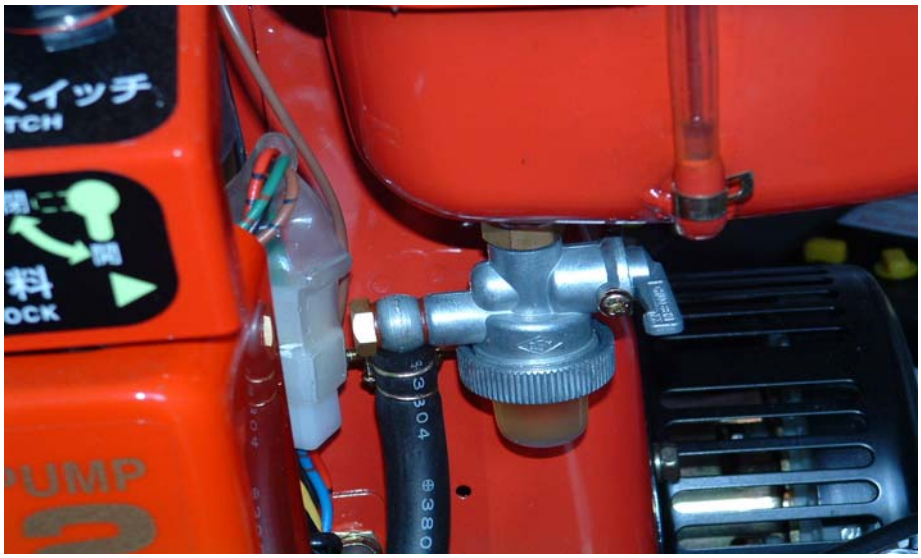
① 燃料コックレバーを開ける（右のＧＳタンクの下）

② スロットル②の矢印を中央部（始動／吸水）位置に合わせる

③ メインスイッチ③を「始動」にする

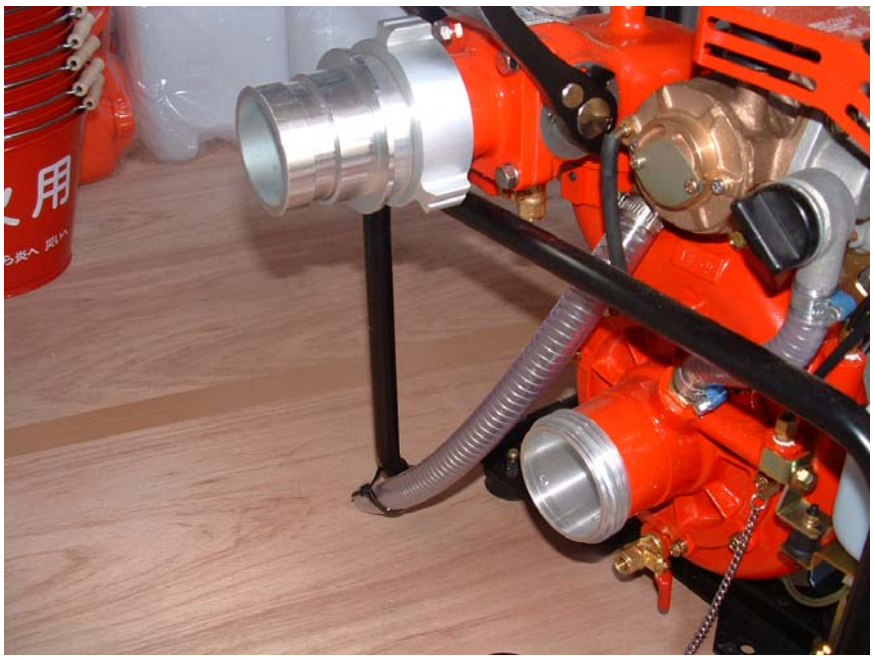
＊セルモーターによりエンジン始動する

④ メインスイッチ③を「運転」にする



２．　吸　　水

①　吸水レバー④を手前に引き、真空ポンプを作動させ、真空ポンプ内に水を入れる。真空ポンプの排気ホースから水が連続的に排出するまで３秒～５秒程度レバーを引いておく。その後、ゆっくりレバーを放水位置に戻す。



＊この状態で全ての準備は完了です。ハンディートーキーにて消防隊長と、　ポンプオペレーターと連絡をとり、放水を開始します。

３．　放　　水

① 放水指示は、すべて消防隊長の指示により行う。

② 放水弁ハンドル「半開」から、ゆっくり「開」にして放水開始する

③ 放水開始直後はホースがよじれたり、折曲がりの個所があると水流が止まるのでホースの状態を監視しながらスロットル②を右に回しながら水圧をかける。

④ 放水中は常に、消防隊長と連絡をとり、水圧調整を実施する。

４．　水の一時停止

② 一時的に放水をとめる場合は、スロットル②を「低速」にして、放水弁ハンドル「閉」にする。

５．　停　　止

① スロットル②を「低速」にして、放水弁ハンドル「閉」にする。
メインスイッチ③を「停止」にしエンジンを止める。